

# OB会 だより



挑戦シリーズ  
No.28



## 定年後の人生

新しい道に挑戦し、輝いている仲間がたくさんいる。

その一人 飯田文江さん

「ベニシアさんの庭」ならぬ「フミエさんの庭」に挑戦し、楽しんでいる。

現役のころに発病したリウマチと今も闘っている飯田文江さん。かれこれ20数年！  
劇症型DMを合併し、また人工関節の手術後でもある。長い療養生活にも笑顔を忘れない彼女は現役時代と変わらない。自宅のベランダは、草花が所狭しといっぱいだ。散歩の途中で摘んできたものが多いとか。「今日は600歩 歩いたよ」などのメールが時々ある。その時に摘んだ草花を愛でながら育てている様子がわかる。帰り際、私たちに一枝を渡してくれた。「温泉に行けるように頑張るからね」と再会を約束して別れた。  
飯田さんは看護師として浦和民主診療所・埼玉協同病院に勤務しました。(文責 富田厚子)

## 新入会員紹介



よろしくお願いします



### 宮島 法師郎さん

今年3月定年退職となりました宮島。

今から42年前、浦和民主診療所の入職をスタートに、あちらこちらの病院・診療所に放射線技師として勤務してきました。本部から定年退職の説明を受けた際、OB会話を聞き、入会することになりました。とはいえ、現役時代と何ら変わることなく退職時の職場、所沢診療所でフル勤務しています。お会いした時は一緒に楽しく飲みましょう。



### 川嶋 芳男さん

現在、埼玉県社会保障推進協議会に勤務し、社会保障の運動をおこなっています。

憲法9条とともに25条を守り、発展させたいと思います。平和でこそ 幸福な生活につながります。大好きなスポーツを楽しむためにも頑張ります。



### 猪俣 浩さん

行田の猪股です。まだまだ若輩なのでOBというにはおこがましく、今まで参加していませんでしたが、小川さんから強いお勧めをいただいお仲間に入れていただくことにしました。実は一昨年の春に早期退職しました。30年勤続目前ではありましたが、難病のため負担の少ない勤務とするための選択でした。現在は行田協立診療所で週1回の外来相談を、また無料・低額診療の相談員として登録、「きょうりつだより」の編集や広報関係のお手伝いなどを行っています。他には自らを「季節労働者」と称して、生協強化月間や年末は「生協コーナー」に。外来にみえたOBの方と顔を合わせる機会も多く、「年金暮らしのところ恐縮ですが」と言いながら、せつせと出資金の増額をお願いしています。まあ、人と話すのは嫌いな方ではないので楽しみながらの仕事です。ただ、そうはいつでも相談員としてのスキルだけは維持したいので、社会資源の情報の収集や学習、職能団体の研修会なども身体的な制約を考えながら参加しています。車の運転がかりうじてできますので、行き先がバリアフリーなら外出ができます。暮らしの学校や支部行事などで声がかかれば、介護保険や社会保障全般についての講師活動も行っています。最近、社会保障の話をするときに心がけているのは、その歴史を語ることです。国民皆保険となった頃の話や老人医療無料化が実現された時期から、現在のひどい状況までを体験している者として、なるべくわかり易い話で伝えることに努めています。これからも機会があれば発信していきたいと思いますのでよろしくお願いします。



9月15～16日

## 草津・栗生楽泉園を訪ねて

伊藤 英子

草津へは10人乗りレンタカー2台と西部の4人（水野さんと高田さん、我が家2人）は我が家の自家用車に乗っての参加。総勢23人。ハンセン病療養所栗生楽泉園は全国唯一温泉を引いた療養所ですが、重監房という監獄よりも厳しい監房が設置されていました。もともとらい予防法で人権を無視した療養所生活を強いられてきた患者たちの闘いで法を撤回させました。いろいろなことを学んだ旅行でした。草津の温泉饅頭もたくさん食べて太りそうです。



高田 くにえ

ショックでした。再現された重監房に実際に入って体験、ショックでした。また、俳句を趣味とする私は、俳人“村越化石”を帰って早速調べてみました。村越化石は、ハンセン病とその後遺症と闘いながら句作を続け「魂の俳人」と呼ばれた人で、すごい句を作っていた人でした。蛇笏賞、角川俳句賞、俳人協力賞、詩歌文学館賞、紫綬褒章など多数の受賞もありました。代表的な句に

除夜の湯に肌触れあへり生くるべし      寒燈を消すとき母につながれり  
物として寒の畳に坐しるたり              人の死をうらやみする寒卵

伊藤 幸夫

よく手入れされた敷地は静謐、穏やかであった。盲導鈴のゆるやかなメロディが優しく流れる。人として社会に受け入れられなかった凄惨な辛苦の日々と闘いの日々。過ぎ去りし過去のことではなく、つい最近までのことであり、その残渣はいまも社会の中で見られるのかもしれない。障害を持つ人、ある種の疾病をもつ人、貧困など立場の弱い人・なぜ人が社会が人を…心の奥底に潜む業なのか。多様性を認める、いや多様性こそが人を豊かにするこの頃つくづく考えさせられている。入所者の方々が安寧の日々を過ごされることを願っています。

寺島 萬里子

## 「栗生楽泉園重監房資料館」見学記

今年のOB会旅行の中に、ハンセン病療養所栗生楽泉園内の「重監房資料館」見学があった。ここの開館の日、この施設建設の中心となった笏雄二さんが亡くなられ、私は彼の棺のそばを離れられずにいた。

入館前にビデオで説明があり、その後解説者がついていていねいな説明を受けながら見学、原寸大に復元された重監房は、小さな窓が高いところにあるだけで昼も暗い。零下20度の厳冬でも薄い布団上下一枚ずつ、副食物のほとんどない食事などを目の前に見ると、な



ぜ病人をかくも無惨に扱ったのかと心が痛む。戦争に役立たぬ者はすべて切り捨てたあの時代、さまざまな理由（逃走、博奕、小さな反抗など）で93名がここに入れられ、23名が亡くなった。戦後いち早く回復の闘いが起こり、1947年に運用を停止させた。1996年、ついに「らい予防法廃止」。2001年「人権侵害謝罪・国家賠償請求訴訟」の勝利を在園者は勝ち取った。今、皆老いたが表情は明るい。この負の歴史も後世に伝えねばと思う。



## 私の近況



### ★ 中村 雅子 ★

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、この頃の陽気は分からない。地球もおかしくなっているのかも、私の体もついていけない。まだまだやれると思っていたこともできなくなっている。身長も縮み高いところに洗濯物も干せなかったり、腰痛もひどい。「歳のせいですね」と医者に言われてガッカリ。でも今年の選挙は毎日出て歩き、頑張りましたよ。戦争中に子ども時代を過ごした私は平和憲法を守らねばと思い、安倍政権によって改悪されようとしている憲法学習会をやっています。医療生協の「健康と平和」を配布していて感じることは、一人暮らしの人が多く体調を崩したり、転んで動けなかったり、とても心配です。何も力になれないけれど、これからもつながりを大切に助け合っていければと思っています。最近姉たちが次々と亡くなり五人姉妹も私だけになりましたが、友人を大切に頑張ります。

### ★ 加藤 たい子 ★

退職後に始めたのが、20人ほどが参加する朝のラジオ体操です。7時30分から30分ほどですが、これが結構運動になります。ラジオ体操の第1と第2、ストレッチ運動、最後に「狭山市のすこやか体操」と続きます。小中学校時代には、正しいと思っていたやり方が違っていたり、新しい発見もあったり。結構おもしろい！！

水泳のレッスンを20年ほど受けているのですが、うまくなるには体幹の強化が課題なので、ラジオ体操も体幹を意識して行い、内村航平選手ではないのですが“美しいラジオ体操”をめざして参加しています。ストレッチのあとの体操は狭山市特製！！

運動の最後に「お茶！！」「お茶！！」と大きな声をだしお茶の葉っぱをイメージした動きでおしまい。日頃、思いっきり大きな声を出すことも少なく、大声を出したり、意識して身体を動かすことは貴重です。生活の一部にしていこうと思っています。

### ★ 高橋 輝子 ★

61歳になりましたが、清瀬の調剤薬局で週3回のパートで働いています。夫が亡くなりもうすぐ5年になります。シングルマザーで看護師の娘と5歳の孫と一緒に住み娘の夜勤、休日出勤では孫守りをしています。私の実家は静岡の農家です。水田は人に貸して作ってもらっていますが、茶畑は大型機械が入らないところもあるため自家でやっています。茶畑の管理、山や畑まわりの草刈り、84歳の母のいきがいである様々な野菜づくりの手伝いに、土日で月2回、農繁期の4月、6月、9月には仕事を休んで1~2週間、農作業に通っています。そんなわけでこれからもOB会に“ご無沙汰”になりますがよろしくお願いします。

### ★ 山本 康男 ★

7月、埼玉医大に入院し眼科の手術をしました。主治医からは「視力の回復には4~5か月」と。でも体調はいいし、リハビリのつもりで少しずつ仕事に復帰。先日、利用者さん宅をたずねたとき三峰神社にお参りをしました。浅田真央ちゃんのご利益で有名になった三峰神社の「白い氣守」、毎月一日には全国から泊りがけで手に入れたい人が集まり大混雑です。前夜から並んでいる人も。私も期待と面白半分、話題にと思っていきました。これだけの人が集まるのだから、神社には当然ご利益がと思いますが、少しでもお裾分けを願っています。



私は11時過ぎに行き、500mを車で30分かかり、降りてから1時間という速さでした。

★ 浦川 恵子 ★

蔵王だより ～蔵王のめぐみ～

夏から秋にかけて、朝市で毎週のように買うのが“我妻さんの万願寺とうがらし”。オリーブオイルで、ソーセージとさっと炒めるのがお気に入り。



たまに品切れの時もあり「今朝見たら、まだ小さかったのよ。来週持ってくるからね」収穫したてを持ってきてくれる朝市ならではの。「もう、終わったのよ。」と言われれば、来年の楽しみとなる。“アケビ”が並べば、「実は食べたことがない」と話すと、おまけしてくれた。

9月のある日、家の前で“ポトン”という音にふと見ると、山栗が転がっていた。ドングリの転がる音も聞こえてきて、秋めいてきた蔵王である。



大久保 忠一さんを偲ぶ

埼玉民医連退職者の会三代目会長として活躍された大久保忠一さんが、7月7日 96歳で他界されました。写真は2013年「第一世代との懇談」の時の大久保さんです

大久保忠一さんは

入社採用試験官、労組の演劇監督

お世話になりました

権田 圭助

1947年10月、関東配電（現在の東京電力）熊谷営業所で、採用試験を受けた時の試験官の一人が大久保忠一さんでした。全国の労働運動の先頭を切っていた日本電気産業労働組合（電産）は従業員の採用にあたって、労働組合も会社側と対等に公正、民主的な試験参加を勝ち取っていました。会社側2人、労組側2人（大久保さんと神谷伸吉さん）でした。なぜ関東配電を選んだのかを聞かれて、戦争体験（熊谷空襲など）と働く者の生活などを話したことを覚えています。採用が決まり、初出勤した日が職場大会で、生まれて初めて労働運動に息吹を感じて、何とも言えない体験となりました。



1949年 関東配電さいたま支部  
文化会芸術祭 出演者（埼玉会館）  
中央で腰を下ろしているのが大久保さん

やがて地域住民に、演劇でわかりやすく知ってもらおうと活動を始めました。大久保さんが脚本も演出も俳優もやり、私も一応主役となって、これも生まれて初めての活動でした。私が占領政策違反（政令 325 号）で警察に追われた時もお世話になり、そして民医連の結成など本当に縁の深い付き合いでしたね。

## なつかしい

「敬ちゃん、お茶いれろいな」 仲村 敬子



北浦和の元町 3-5-1 で、一階が浦和民主診療所、二階が県連事務局だった時代、大久保さんと机を並べて仕事をしていました。身なりをかまわなかった私は、大久保さんから「敬ちゃん、もちょっとしゃれろいな（もう少しおしゃれしなさい）」と言われたものです。10 時過ぎになると大久保さんは足をパタンパタンと揺らしながら「敬ちゃん、お茶いれろいな」と言って、カバンからどら焼きだのおばあちゃん手づくりのおはぎだの取り出してふるまってくれ、沖縄の闘いや瀬長亀次郎さんのこと、前進座の芝居、高倉健のやくざ映画、エッチな話もしてくれました。エッチな話は私がおもしろがると小川さんが「もう、やめ、やめ！」とよく怒っていました。しゃにむに仕事を進めるタイプではありませんでしたが、不思議な安定感があって誰からも慕われました。労働組合や民主団体が共同でとりくむ闘いや文化運動には、いつも中心メンバーのひとりとして大久保さんがいました。赤旗しんぶん「とんがらし」や「ふれだいこ」に「埼玉・チュウさん」で投稿して、よく掲載されました。

退職後は年金者組合や退職者の会で忙しく活動されました。ベトナムや韓国、沖縄へ平和の旅がいっしょにできたのは、この上ない思い出です。ありがとうございました。

## 最後の最後まで

力を出し切った大久保さん ありがとう！！ 栗原 和子

7 月 7 日午前 7 時 30 分頃、直子さんから電話が入った。6 時 50 分亡くなったとの知らせで、すぐ熊谷生協病院に伺い顔を見る事ができた。3 日位前には話しかけるとうなずいてくれた。娘達に介護され大好きな奥様の迎えで旅立ったんだなあ・・・と安らかな顔を見て思った。

私達にとって人生の先輩であり、世直し活動の先輩。戦争体験、レッドパーズ、民医連、医療生協の設立と多くの世直しの道を作り残してくれた。だから今があると思っている。個人的には小学校低学年のころ兄が病気（16 才で他界）で在宅療養をしている時、昼夜を問わず小林盈蔵先

生が往診に来てくれた。貧乏な家庭だったので両親は常にお金のことを気にし感謝をしていた。今思えば医療費がきちんと払えたのかなーと思います。その裏には経営のやりくりをし、支えてくれていた大久保事務長さんがいてくれたおかげだと思う。感謝です。

仕事を一緒と言うことはなかったが退職者の会でベトナム旅行から始まって、韓国、台湾、沖縄とご一緒し親しくさせてもらった。泡の出る飲み物が大好きだった。いつも奥様とのなれ初めから始まり、戦時中の話し、民医連、医療生協設立の話しと語り足りない位話してくれた。参議院選挙の真っ只中、病状も悪化し、到底考えられない期日前投票をされたと聞き、最後の最後まで持っている力を出しきったんだと思った。直子さんから「世の中変わろうとしているのに結果を見てからいけばよかったのにねー」とつぶやきが聞こえた。

私達に筋を通すことを教えてくれてありがとう。ご冥福をお祈りします。



## 父を想う



大久保 直子

いつの頃からか父がやさしくなっていた。子どもの頃は厳しく怖く近寄りがたかった。熊谷で戦後、荒廃した医療を国民のための医療にと活動が始まったのは私が生まれた年でした。20年後、私が父と同じ医療人になり同じ方向をめざす中、少しずつ父の人となりを知り身近に感じました。退職後も自分の信念を貫き、平和活動を中心に何事にも積極的に立ち向かい、突き進む父の姿を誰よりも身近に見つめることができ幸せでした。

父は好きな写真を数十冊のアルバムに作り、たくさんの楽しい思い出を残してくれました。特に晩年のOB会の旅行は、気心の知れた仲間とともに過ごすことができ喜んでいました。写真では父の笑顔がこぼれていました。年とともに丸くなり温厚で可愛いおじいさんになりました。ずぼらな私には何事もきちんとやる父がまぶしく尊敬しています。

ありがとう お父さん！

## 平和を願って歩いた 70 年 そんな父を尊敬します

富田 史代



父の葬儀は参議院選挙開票日でした。病室で期日前投票を済ませて開票日を楽しみにしているように見えたのですが、それはかなわず



自分の告別式になってしまいました。

OB会会長の富田様からご弔辞をいただいた時、2008年ベトナム旅行、09年沖縄、10年台湾平和の旅にと参加させていただいた旅先が思い出され、旅行中いつも父と手をつないで歩いた時が蘇ってきました。旅行には参加したいけれど、高齢の父にはスーツケースは重すぎます。（余談だが、若い時からペン以外の重たいものをもったことがなかった？ 父の手はうらやましいくらい生涯美しかった）私はサポーターという名目で参加、OB会の方々の暖かい輪の中にいつの間にか入り込み、以前から知り合いのように接していただき、楽しい会話、おいしい料理にビールにとたくさんの思い出ができました。格調高い内容の企画旅行で、ベトナムでは戦火の跡地、台湾は霧社事件の記念碑訪問、沖縄は海上基地建設阻止の現場であり美しい辺野古へと連れて行っていただき、平和の大切さを改めて痛感しました。

家では厳格で怖い父でした。晩年は孫が吹くホルンの音色が好きでした。平和を願って歩いた70年、そんな父を尊敬します。

生協病院へ入院中は毎日、新聞を届けに妹たちと一日2～3回交代で、また点滴だけになってしまった6月は妹が（直子）が夜は付添い、昼はアイスクリームをこっそり一口、嬉しそうになめたりしていました。

七夕の朝一人の時に、私たちにバイバイも言わず逝ってしまいました。きっと母の差し出した手を握り、黄泉の世界へ誘われたのでしょう。生前は大変お世話になりました。

感謝とお礼を、そしてこれからもOB会のますますのご活躍を祈念致します。



## 子規庵を訪ふ

水野 久子



絶筆の句碑に秋日の濃かりけり  
絵姿の子規の見てをる系瓜棚  
系瓜忌や枕頭のものみな小さ  
朝採りの千草束ねて六畳間  
蜻蛉の水を求めて子規の庭

## ただいま 連戦連敗中

梅原 恭子

夫は埼玉協同病院近くに数年前から農地を借り野菜を育てている。高校時代からの友人と二人で週 1~2 回車で 30 分かけて通っている。稲わらで囲った「ブーフーウー」に出てくるような小屋も作った。ある日、昼食のおにぎりとおかずが、ある日は好物のキンツバがたて続けにカラスに盗まれた。カラスが小屋の中に入っていくのをみつけ「こらー」。悲しいかな小屋から少し離れた所で草とりをしているため、声は間に合っても肝心の身体の方は足がもつれて転倒。カラスがしっかりと口に袋をくわえて飛んでいくのを見送る。



足だけでなく学習能力にも衰えが来ているのか・・・夫たちは小屋のテーブルにキンツバの入った包みを置いてしまい、「さて美味しいキンツバでお茶を」と見回すがない！

「確かここに」と首をかしげていると、目の前の草むらに空のプラスチックの入れ物が。昼食を作り持たせている我身にとっても他人事ではない。青森の姉に「かくかく云々、何か良い方法ない？」と聞いたら「唐辛子を詰めたチクワが効果あるって聞いたけど」と。早速唐辛子、ワサビ、辛子、マスタードの入った 4 本のチクワ（しかも悟られてはまずいとチクワの穴にチーズで栓をして）いざ出陣。その日チクワは影も形もなく期待通り消えていた。夫たちは「きっとあいつ等はゲーゲーガーと血の涙を流し、痔にもなったに違いない」と嬉しそうに自慢話。

やはり青森にいる妹にメールをすると、「ゲーゲーガーは残念ながら、今度はどんなメニューお願いしようかとリクエストの相談している声だよ。きっと。だって鳥類の味蕾は人間よりずっと少ないからねー。お金かけずに網かけたら？」とバツサリ。獣医学部外科教室に 40 年も働いた検査技師の妹である。聞く順番を間違えた私が悪かった。

そんなある日の朝、家の前の道路にカラスの羽？ が落ちているのに気づき夫に伝え、  
「なに？ 手紙は落ちていなかったか？」と。「??」「きまってるだろ、挑戦状だよ」。  
その後、畑へのカラスの訪問状況を聞くと「あいつ等住民票届けてないからな。同じカラスか証明が難しいんだよ」

子ども時代、近所でも評判の悪ガキでパチンコで散々悪戯をしていたという夫も、連戦連敗中のカラス相手ではかなり練習しないと当たりそうにない・・・



## 事業所訪問

# 生協歯科診療所

訪問者： 富田 孝博  
仲村 敬子

9月30日訪問し、宇田川事務長よりお話を伺いました。

1989年10月、埼玉民医連初めての歯科診療所として、埼玉協同病院敷地内に開設され、職員7名、診療台7台でした。



2006年12月、現在地に移転、開設から26年を経た今では、医師10名、非常勤含め職員総数47名、診療台24台という診療所になりました。

## 医科との連携を拡げる活動

糖尿病の患者さんには歯科受診をすすめていただくなど、医科との連携を拡げてきています。医科でも口腔ケアは大切なので、歯科診療所から協同病院に送った2名の歯科衛生士は、リハビリ科に配置され大きな役割を果たしています。

行田、朝霞虹の歯科、生協歯科の3歯科で、合同医局会議、職種別代表者会議を開き、歯科グループとして力量アップに努めています。医科との連携は、医療の質の向上、職員育成にも大切と考えます。

## 医療生協らしさを大切にしたりくみ

医師を講師に「歯周病」「噛み合せ」「歯ならび」教室、衛生士を講師に「歯ッピーマウス」「ウルルン・サララ（ドライマウス・口臭）」教室を開き、参加してほしい患者さんには医師が電話で呼びかけをしています。

支部の組合員さんが、夏休み・冬休みに「子どもの保健教室」や「噛むカムクッキング（手打ちうどん体験）」で職員といっしょに学びと交流の場をつくっています。組合員ルームは、おし

ゃべり喫茶「シカ子さん」や「書道教室」「健康体操」などで大活躍です。事業所利用委員のみなさんが丹精込めたゴーヤのカーテン、二階まで届く朝顔の棚など、四季折々の草花を楽しむこともできます。

### 衛生士の確保が急務

現在常勤8名、非常勤3名ですが、予防処置、診療の補助など効率のよい診療を進め、年度末の黒字予算達成にむけ衛生士の増員が急がれます。

OBのみなさん、衛生士確保にお力をかしてください

今回の訪問で感じたことは、地域でますます歯科への要求が広がっていきませんが、これにこたえつつ、安定した経営を作り上げていくにはどうしたらよいか、低すぎる診療報酬の引き上げ、組合員活動のひろがりには私たちにとっても大きな課題だと思いました。



### 2016年度医療生協さいたまの基本方針 学習・懇談会に参加して

金子 仁志

毎年恒例となった学習・懇談会が9月29日の午後、本部会議室において19名の参加で開催されました。講師には今年も斉藤専務がみえ、「2016年度の医療生協さいたまの基本方針の到達について」と題して、医療・介護をとりまく情勢や医療生協さいたまの取り組み（平和、組織活動、職員確保、経営など）についてプロジェクターを使って話してくれました。私の現役時代とは異なり、介護分野の比重の拡大や、医療も含めて範囲も広がり、かつ複雑になってきているように感じました。また最後に「OB会のみなさんへ」ということで、「現役組を応援してほしい」「元気な姿を見お話が終わったあと、有料老人ホーム「桂の樹」の開設後の状況や、「急性の病気だけでなくずっと



埼玉協同病院にかかりたい」という地域での声にどう対応していったらいいのかなど、斉藤専務とのざっくばらんな話し合いがもたれ、1時間半の予定時間はあっという間に終わりました。

## 埼玉県原爆死没者慰霊式

石丸 乾二



7月30日、第30回慰霊式は埼玉県・さいたま市、県議、市議、埼玉県関係の国会議員にも参列を呼びかけ、270名の参加で行われました。自民、民進、公明、共産など、電報・メッセージも含めれば超党派の議員が顔を揃え、原爆死没者の慰霊と核兵器廃絶を誓う機会となってきたことは隔世の感があります。慰霊碑が畑和県知事の認可で別所沼公園に建立された頃、原爆被爆者の問題は野党の課題として自民党はまったく顔を向けなかった頃から「ここまで世の中変わった！」と感じます。この間には、原爆症認定集団訴訟の判決で原告勝訴・厚労省敗訴が続いて自民も妥協ではすまなくなった事情もあってのこともありました。埼玉県内の平和運動の一つの到達点を築いたといえるでしょう。



## 日本高齢者大会

西方 加津代

今年は会場が近いということもあり、8月28日の高齢者大会に医療生協組合員7人で参加した。数多い分科会の中から「老人漂流社会～団塊世代にしのび寄る老後の破産」にみんなの関心が高く参加。日本の屋台骨を支えてきた「団塊世代」も高齢化。親の介護が重くのしかかる。バブル崩壊を機に収入は減り、親子が共倒れするというNHKスペシャルの紹介も含めた講演を半日近く聞きました。帰りがけに参加した仲間で食事をしながらの振り返りでは、「音声が悪く



よく聞き取れないし、内容も難しかった」等最初は不満の声も少なくなかったのですが、途中から「他人事ではない」との意見や「地域で何かやる時は参加させて」「一人暮らしの人の地図落としをやってみたい」等の感想も出て今後に期待きそうな「気配？」です。

## 次姉の急死—

### 4人兄弟姉妹のうち残ったのは私1人に・・・

石丸 乾二



姉・石丸愛子は、2015年4月4日夕刻17時10分頃、車を運転中、運転不能になり、意識不明 心肺停止状態で、昭和大学横浜市北部病院の救急センターに運ばれ、救命蘇生が30分、懸命に施されるも復帰せず、19時40分死亡と宣告されました。

私は帰宅途中、横浜・青葉警察署の刑事の携帯から「落ち着いてよく聞いてくださいね」から救命処置もかなわなかったことを告げられ車を駆って昭和大学横浜市北部病院へ。すでに病院の霊安室でした。葬儀社の寝台車で青葉警察署に運ばれ、死因を特定するため解剖したいと告げられ一応同意しました。(警察署長の判断でも解剖できるそうです。ただし、遺族に剖検料金二万円が請求される。司法解剖になると裁判所の令状を取ることであり、十萬円の剖検料が請求されるとか・・・)

自家用車が左にそれ、歩道に乗り上げ、通りにあるバイク屋の敷地に駐車中の軽トラックにぶつかって止まるまでを見ていた目撃者がいて「すでに意識がないような状態で左にぶつかったように見えた」の証言が重く見られたようです。また、事故現場を見てきた刑事からは「衝突の衝撃で作動するはずのエアバッグが作動した形跡がないところをみると時速30km未満で軽トラックに衝突したと推定される。」と。軽微な物損事故で、過日の大阪・難波の事故のような重大な人身事故にならなかったことは不幸中の幸いと今更、胸をなでおろすようでした。

翌、日曜日に解剖できる監察医が了承したとのことで解剖に付されたと連絡があり、後日、わたされた「死亡届・死体検案書」によると、『胸部大動脈解離、解離性大動脈瘤破裂』ということで、一昨年なくなった長姉・弟子の死因と奇しくもおなじでした。あまりにも急だったので、関係者へ知らせる手がかりが見つからないまま、兄弟関係、いとこ、甥、姪などすぐ呼べる親類関係だけで家族葬をおこないました。姉が父の死で遺産分割協議書から受け継いでいた実家の処分、遺産相続がどうなるかの手続もせねばならず、父方の除籍謄本を取りに佐賀県伊万里へ、母方の除籍謄本を取りに山形県酒田へと、上尾、横浜とを往き来しながらが続きました。そのため、OB会の幹事として不十分だったことをお詫びします。(続く)

**ホームページ、毎月更新しています。ご覧ください**

埼玉民医連退職者の会

検索



# 地域・お知らせ いろいろ

## 読みましたかあ～

全日本民医連・厚生事業協発行の「共済だより」は退職後も希望者には送られてきますが、みなさん読んでいますか？ シリーズ「伝えていきたい・私の民医連」現在の執筆者は、高橋昭雄先生です。2016年8月号から始まり続いています。

2016年6月・7月号は寺島萬里子先生でした。

2015年7月～11月は肥田泰先生でした。



### 大井協同診療所

藤田 悦子

大井村から70年・・・

～健康を育ててきた私たちの歴史とこれから～

8月27日、ふじみ野サービスセンターで「開設70周年記念のつどい」が開催され、大勢の組合員さんと職員が一つになった一日でした。12支部の紹介から始まり、各支部のパネル展示はそれぞれの思いがびっしり込められた作品となり見事でした。また支部活動紹介ではファッションショウあり、楽器演奏、踊りなど日頃の支部活動を楽しませてもらいました。私達の支部の「介護版ファッションショー」も好評でした。大井協同診療所開設70年の歴史をひもとく鬼嶋先生（佐賀大学）の講演と権田さんの当時の体験を聞くことができ、現在の大井協同診療所が地域に根づいた活動を引き継いでいることを元職員としても誇りに思えた一日でした。11月には二部として増山由紀子所長の話と太田真紀さんのコンサートが行われる予定で楽しみにしています。



### 行田協立診療所

小野 敏

行田退職者の会は、9月9日いつもの居酒屋で、9名の参加で納涼会を開催。当日、渋川から参加した方もあり、和やかに懇談。話題は、体重が増えて困っていること、70歳前後になり残りの人生をどう生きるか等が中心でした。年々、同じような話題が飛び交う退職者の会です。





浦和民主診療所

小嶋 美智子

7月31日、うらしんOB会総会を銀座アスター浦和店で16名が参加し行いました。東葛病院看護学校の教師をしている高田澄子さんが生徒2名を連れて、原水禁広島大会のカンパの訴えに来ました。総会の前に「埼玉県原爆死没者慰霊式」に参加した仲間もいました。にぎやかな近況報告、中島まさよさんは宮城からの参加、和気あいあいのうちお開きに。その後コルソで行われている「戦争展」にも行き、忙しくも充実した一日でした。

気軽に 私の一枚



オクラだよー 小川祥江



やられたあ〜 栗原和子



可愛いネエ 富田厚子



草津よいとこ・・・ 金子 仁志



巾着田は花ざかり 石丸 乾二

あとがき

OB会だより 10月号、「あれっ」と、思われた方 いませんか？

そうです。いつもより文字が少し小さくなっています。いただいた原稿は全部載せたいと思い、文字を少し小さくしてみました・・・ 残念、 どうにも入りきれませんでした。

次号になってしまった方、本当に申し訳ございません。

でも、でも、担当者としては、たくさんの原稿、本当にうれしいです。小さい文字になってのみなさんの感想・意見、聞かせてください。 (よ)